

衆議院財務金融委員会ニュース

H27.3.31 第189回国会第6号

3月31日(火)、第6回の委員会が開かれました。

1 財政及び金融に関する件

- ・関税等に関する実情調査のため、東京税関管内において視察を行った委員を代表して、古川委員長から報告を聴取しました。
- ・麻生財務大臣兼金融担当大臣、菅原財務副大臣、橋本厚生労働大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

(参考人) 日本銀行総裁 黒田東彦君

(質疑者及び主な質疑内容)

鈴木克昌君(民主)

- ・訪日外国人旅行者数の増加傾向や税関業務の高度な専門性を踏まえ、税関職員1人当たりの年間の旅客対応数と申告処理件数について、それぞれ平成21年度と昨年度の実績を確認したい。
- ・我が国の観光立国実現の推進等による訪日外国人旅行者数の増加目標や水際取締り強化の重要性を踏まえ、税関の定員確保や検査機器整備等の体制整備が必要と考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・旧3級品の紙巻たばこに係るたばこ税等の見直しについて、その改正理由を確認したい。また、見直しによる影響について、大臣の見解を伺いたい。
- ・中国が提唱しているアジアインフラ投資銀行(AIIB)への参加について、各国の参加表明状況や経済界からの要望等を踏まえた大臣の見解を伺いたい。

吉田豊史君(維新)

- ・政治活動にはそれを行うための資金調達が必要であることを踏まえ、政党の支部等は契約の主体となり得るのか、金融機関から融資を受けることができるのかという点について政府に伺いたい。
- ・政治家個人が政治活動を目的とした融資を受けることに問題はあつか。問題ないのであれば、企業と同様信用や担保が確保されれば融資を受けることが可能なのか、政府に伺いたい。
- ・政治資金を支出する際は、誰がどのように使ったかを明確化することが重要であると考えますが、その際に政党支部がクレジットカード等を活用して政治資金の支出をすること

は可能であるか、政府に伺いたい。

丸山穂高君(維新)

- ・現下の原油価格の下落や、需要面があまり伸びていないといった状況から、物価安定目標達成の不確実性が高まっているのではないかと懸念に対し、日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・原油価格の下落が物価に与える影響は、いつ頃に剥落すると考えているのか、日銀総裁の見解を伺いたい。
- ・AIIIBに関する動きを踏まえ、我が国がどのように国益を確保していくのかについて大臣に伺いたい。また、我が国の態度を表明する時期については、どのように考えているのかについても伺いたい。

宮本徹君(共産)

- ・平成25年11月の自治体の保育施設の整備計画の集計では、0～2歳児向けで平成29年度に4万6千人分受け皿が不足すると推計されており、現政府の計画では待機児童ゼロは実現できないと思われるが政府の見解を伺いたい。
- ・待機児童ゼロ実現のためにあらゆる政策手段を活用する必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・国有地の保育所用地としての利用が進まない原因は賃借料の高さにあるのではないかと。また、大臣の決断により国有財産特別措置法に規定する無償貸付を保育施設に認める可能性について伺いたい。
- ・園庭のない保育園に生ずる問題点の実態調査を行うとともに、外遊びの機会を保証する対策を講ずる必要性について、政府の見解を伺いたい。